

教科	社会	学年	第6年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わたしたちの生活と政治 (1)わたしたちのくらしと日本国憲法	7	○日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本的な考え方にもとづいて、天皇の地位、国民としての権利や義務など、国や国民生活の基本を定めていることがわかる。 ○区や国の取り組み等から、日本国憲法と国民生活との関係について多角的に考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、日本国憲法が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。	○国民生活に関わる法やきまりは、日本国憲法にもとづいていることを理解している。 ○日本国憲法の基本的な考え方として、三つの原則があることを理解している。	○日本国憲法の基本的な考え方と国民生活との関わりを多角的に考え、文などにまとめている。	○日本国憲法が国民生活に果たす役割の大切さを考え、自分のくらしと関連付けて考えようとしている。
1. わたしたちの生活と政治 (2)国の政治のしくみと選挙	4	○国会(立法)・内閣(行政)・裁判所(司法)がそれぞれ独立し、国の政治を分担して進めていることがわかる。 ○法令や予算との関わりなどから、国の政治の取り組みをとらえて、国民生活における政治の働きを考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、国の政治が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。	○国会・内閣・裁判所の三権相互の関係や三権と国民との関係について調べ、図に整理している。 ○国の政治の方向を決める国会の働きやしくみについて理解している。	○選挙権と、日本国憲法の「国民主権」や「基本的人権の尊重」を関連付けて考え、投票することの大切さについて話し合っている。 ○国会・内閣・裁判所の三権相互の関係、裁判員制度や租税の役割などから、政治に参加する大切さを多角的に考え、文などにまとめている。	○国の政治と国民生活との関係について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わたしたちの生活と政治 (選択単元) (3.)子育て支援の願いを実現する政治	8	○地方公共団体や国の政治は、国民主権の考え方にもとづいて、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかる。 ○地方公共団体や国の社会保障の取り組みと国民生活を関連付け、国民生活における政治の働きについて考えることができる。 ○学習をもとに、地方公共団体や国の政治が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。	○見学・調査などをして、身近な地域の公共施設と、どのような人がそれらを利用しているか調べている。 ○公共施設の建設・運営の費用には税金が使われていることを理解している。	○区民と区役所、区議会の関係の図をもとに、区民の願いが実現するまでの政治の働きについて、根拠を示しながら話し合っている。	○区や国の社会保障の取り組みと区民生活との関係について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。 ○
1. わたしたちの生活と政治 (選択単元)3. 震災復興の願いを実現する政治	8	○地方公共団体や国の政治は、国民主権の考え方にもとづいて、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかる。 ○害からの復旧・復興における、地方公共団体や国の取り組みと国民生活を関連付け、国民生活における政治の働きについて考えることができる。 ○学習をもとに、地方公共団体や国の政治が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。	○災害にあった人々のそれぞれの願いに対応した市や県、国の働きを調べ、表に整理している。	○被災地が復旧・復興するまで、区や県、国がどのような取り組みをしているかを図などにまとめて多角的に考え、話し合っている。	○災害からの復旧・復興における、区や県、国の政治と市民生活との関係について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
-----	----	------------------	--------------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2. 日本の歴史 (1)縄文のむらから古墳のくにへ	8	○狩猟・採集の生活や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子から、世の中の様子がむらからくにへと変化したことがわかる。 ○狩猟・採集の生活と農耕の生活の様子から、当時の人々の生活の変化について考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、日本の国の成り立ちや国の形成について考えようとする。	○写真や想像図などの資料から、縄文のむらと弥生のむらについて調べている。 ○古墳や古墳からの出土品の写真、古墳づくりの様子の想像図などの資料から、古墳について調べている。	○縄文のむらと弥生のむらの想像図を比較して、むらの様子の変化について考え、話し合っている。 ○全国の前方後円墳の分布を表す地図と2つの古墳から発見された刀剣の写真から、大和朝廷の力の広がりやその後の国の統一を関連付けて考え、発表している。	○縄文のむらと弥生のむらの想像図を比較して、疑問に思うことを整理し、自分で学習問題をつくっている。 ○「縄文のむらから古墳のくにへ」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。
2. 日本の歴史 (2)天皇中心の国づくり	6	○聖徳太子の時代から聖武天皇の時代までのできごとについて、写真・地図・年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。 ○聖徳太子がめざした新しい国づくり、大化の改新後に進められた天皇中心の政治、聖武天皇が行った政治などから、この頃の世の中の様子について考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、聖徳太子や聖武天皇の国づくりへの思いや願い、それらを支えた人々のくらしについて考えようとする。	○写真や地図などの資料から、聖徳太子がめざした国づくりと大陸の政治・文化との関係について調べている。	○聖武天皇がどのような願いや思いをもって国分寺を建てたり、大仏をつくろうとしたりしたのかを考え、文などにまとめている。 ○遣唐使や鑑真の来日、正倉院の宝物などを関連付けて、日本と世界との関係について考え、発表している。	○天皇を中心とした政治が確立される過程について、調べたことを考え、自分で学習問題をつくっている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

2. 日本の歴史 (3) 貴族のくらし	3	○貴族のくらしや世の中の様子をもとに、日本風の文化が生まれ、現在まで引きつがれていることがわかる。 ○貴族のくらし、世の中の様子などから京都に都が置かれた頃の文化の特色を考え、文などで表現することができる。 ○貴族のくらしの中から生まれた文化について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。	○絵画や写真、想像図などの資料から、貴族のくらしの中からのような行事や文化が生まれたのか調べている。	○貴族のくらしの様子や服装、年中行事、かな文字や和歌などから文化の特色について考え、文などにまとめている。	○貴族のくらしの様子や服装、年中行事、かな文字や和歌などから文化の特色について考え、文などにまとめている。
2. 日本の歴史 (4) 武士の世の中へ)	6	○源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子から、貴族にかわって、武士による政治が始まったことがわかる。 ○武士の台頭や源平の戦いの様子、鎌倉幕府のしくみ、元との戦いなどから、武士による政治が始まった頃の世の中の様子について考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、源平の戦いや鎌倉幕府による政治、元との戦いなどに関わった人々の思いや願いについて考えようとする。	○鎌倉幕府の政治のしくみを理解している。元軍との戦いの後、鎌倉幕府の力が弱まったことを理解している。	○源平の戦いを示す絵図や年表、地図などの資料から、平氏が源氏に負けた理由を考え、話し合っている。鎌倉幕府の衰退を元軍との戦いと関連付けて考え、発表している。	○武士による政治の始まりについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。元軍との戦いに参加した武士たちの思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

2. 日本の歴史 (5)今に伝わる室町文化	3	○金閣や銀閣などの建造物や水墨画などの絵画, 芸能について, 写真や絵図, 地図や年表などの資料で調べ, わかったことをまとめることができる。 ○代表的な建造物や絵画, 世の中の様子から, 京都の室町に幕府が置かれた頃の文化の特色を考え, 文などで表現することができる。 ○代表的な建造物や絵画について, 学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。	○足利義満が建てた金閣と足利義政が建てた銀閣について理解している。茶の湯・生け花・能・狂言など, 現在も受けつがれている室町文化や習慣について理解している。	○東求堂の書院造の部屋と現在の和室を比較して, 共通点や相違点について考え, 話合っている。	○現在のくらしに受けつがれているものについて, 今もなお人々に親しまれていることに気づき, これからも大切にしようと考えている。
2. 日本の歴史 (6)戦国の世から天下統一へ	6	○キリスト教の伝来の様子や織田信長と豊臣秀吉の政策について, 地図や絵図, 年表などの資料で調べ, わかったことをまとめることができる。 ○戦国の世に果たした織田信長や豊臣秀吉の役割を考え, 文などで表現している。 ○学習をもとに, 天下統一に向けての織田信長や豊臣秀吉の思いや願いについて, 関心をもって考えようとする。	○年表や地図, 想像図などの資料から, 織田信長が天下統一に向けて行った政策について調べている。豊臣秀吉が天下統一を果たし, 武士の社会のしくみを整えていったことを理解している。	○織田信長と豊臣秀吉の政策から, 天下統一における2人の役割について考え, 発表している。	○天下統一をめざした織田信長と豊臣秀吉の思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

2. 日本の歴史 (7)江戸幕府と政治の安定	6	○徳川家康や徳川家光の業績、江戸幕府の政策について、地図や絵図、年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。 ○関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、武家諸法度、参勤交代、鎖国、身分制などから、江戸幕府の政策の意図や社会の様子について考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、武士による安定した政治のしくみをつくり上げていった徳川家康や徳川家光の思いや願いについて、考えようとする。	○徳川家康が江戸幕府を開き、江戸幕府の基礎をつくったことを理解している。江戸幕府の身分制のもとでの人々のくらしについて理解している。	○江戸幕府がどのように大名を支配したのかについて、参勤交代などの政策と関連付けて考え、文などにまとめている。	○江戸幕府の政治を安定させようとした徳川家康や徳川家光の思いや願いを、自分のことばで説明しようとしている。
2. 日本の歴史 (8)町人の文化と新しい学問	5	○歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、地図や絵図、年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。 ○歌舞伎や浮世絵が町人の間に広がったことや、国学や蘭学などの新しい学問がおこったことから、江戸に幕府が置かれた頃の文化の特色を考え、文などで表現することができる。 ○江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことについて、学習の進め方を見直しながらい進んで調べたり考えたりしようとする。	○社会の安定によって、町人の文化や新しい学問がおこったことを理解している。年表などの資料から、蘭学や国学が発展した頃の社会について調べている。	○平安文化や室町文化と比較して、江戸時代の文化の特色を考え、文や表などにまとめている。	○江戸時代に生まれた町人の文化や学問の中で、今もなお人々に親しまれているものについて、これからも大切にしていこうと考えている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

2. 日本の歴史 (9)明治の国づくりを進めた人々	7	○黒船の来航, 廃藩置県や四民平等などの改革, 文明開化, 自由民権運動の発展, 大日本帝国憲法の発布や帝国議会の開設について, 地図や年表などの資料で調べ, わかったことをまとめることができる。 ○明治の新しい国づくりに関わった人物の働きやその思いや願いを考え, 関係図や文などで表現することができる。 ○明治維新以降の日本の近代化について, 学習の進め方を見直しながらい進んで調べたり考えたりしようとする。	○年表や絵画, 写真などの資料から, 開国後の江戸幕府の対応や政権返上までの流れについて調べている。天皇主権の大日本帝国憲法が発布されたことを理解している。	○江戸末期と明治初期の絵図や写真を比較して世の中の変化について考え, 話し合っている。大日本帝国憲法にもとづく国のしくみについて, 現在の日本のしくみと比較して考えている。	○開国による人々のくらしの変化や明治新政府の改革などについて, 調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
2. 日本の歴史 (10)世界に歩み出した日本	6	○日清・日露の戦争, 不平等な条約の改正, 科学の発展などから, 日本の国力が充実し, 国際的地位が向上したことがわかる。 ○日清・日露の戦争, 不平等な条約の改正, 科学の発展などで活躍した人物の働きやその思いや願いについて, 文などで表現することができる。 ○学習をもとに, 日清・日露の戦争, 不平等な条約の改正, 科学の発展などで活躍した人物の思いや願いについて, 関心をもって考えようとする。	○日清・日露の戦争が起こった経過を理解している。産業の発展によって, 人々の生活や社会が変化し, 自由・権利などを求める社会運動が起こったことを理解している。	○日清・日露の戦争について2つの戦況を比較して整理し, 中国やロシアとの関係について考えている。産業の発展によって起こった問題に関わった人々の思いや願いについて考え, 話し合っている。	○日本の国際的地位が変化し, 条約改正を達成するまでの経過について, 調べたいことを考え, 自分で学習問題をつくっている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

2. 日本の歴史 (11)長く続いた戦争と人々のくらし	7	○日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦について、地図や年表、写真などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。 ○日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦から、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考え、文などで表現することができる。 ○戦争の広がりや当時の国民生活について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。	○世界で第二次世界大戦が始まった頃、日本がアジアや太平洋に向けて戦争の範囲を広げていったことを理解している。戦争中の国民生活の様子について、聞き取りや資料を活用するなどして調べたことを整理して、ノートにまとめている。	○満州事変や日中戦争を昭和時代の不景気と関連付けて考え、中国各地への戦争の広がりや人々への被害について話し合っている。戦争の実態や戦争が人々にあたえた影響などから平和の大切さについて考え、発表している。	○戦時体制下の学校生活や学童疎開などの様子から、当時の子どもたちの思いについて考え、自分のことばで説明しようとしている。
2. 日本の歴史 (12)新しい日本、平和な日本へ	8	○戦後改革や日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピック開催などについて、聞き取り調査や地図・写真などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。 ○第二次世界大戦後、日本の政治や国民生活が大きく変わったことや、国際社会に復帰し、国際社会において果たしてきた役割を考え、文などで表現することができる。 ○学習をもとに、これからの日本の課題や果たすべき役割について、関心をもって考えようとする。	○戦争を体験した人から、終戦直後の様子について聞き取り、まとめている。国際社会への復帰や産業の発展など、日本の復興の経過について調べ、年表などに整理している。	○戦後の改革と日本国憲法を関連付けて考え、日本の民主化について文などにまとめている。平和条約締結やアジアで初めてのオリンピック・パラリンピック開催などから、日本と世界の関係の変化や日本の役割について考えている。	○日本の戦後の歩みについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。日本や世界の現状と課題について考え、自分のことばで説明しようとしている。

	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

3. 世界の中の日本 (1)日本とつながりの深い国々	8	○日本と経済や文化などでつながりが深い国や地域の名称と位置, 人々の生活の様子について, 地図帳や地球儀などの資料で調べたり, 調査したりして, わかったことをまとめることができる。 ○外国の文化や習慣の相互理解のために, 国際交流の果たす役割について多角的に考えたり, 自分にできることを選択・判断したりして, 根拠や理由を明確にして話し合うことができる。 ○, 日本や諸外国の伝統や文化を尊重し, 外国の人々とともに生きるうえで大切なことについて考えようとする。	○日本とつながりの深い国の人々の生活の様子, 文化, 産業, 気候, 宗教などについて調べ, ノートに整理している。	○日本とつながりの深い国について, 日本と比較して共通点や相違点について考え, 表などにまとめている。スポーツや文化を通じた国際交流の事例から, 国際交流の果たす役割について考え, 話し合っている。	○日本と異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さについて, 自分のことばでノートにまとめている。
3. 世界の中の日本 (2)世界の未来と日本の役割	6	○日本が国際協力をしている国や地域の名称と位置, 人々の生活の様子について, 地図帳や地球儀などの資料で調べたり, 調査したりして, わかったことをまとめることができる。 ○地球規模で発生している課題の解決に向けた連携や協力などから, グローバル化する世界で日本が果たしている役割について多角的に考えることができる。 ○学習をもとに, 世界で日本が果たす役割や世界の人々とともに生きていくために大切なことについて, 関心をもって考えようとする。	○国際連合は, 世界の平和と安全を守り, 人々の暮らしをよりよいものにするために活動していることを理解している。持続可能な社会を実現するための国際連合を中心とした国際的な取り組みについて調べている。	○戦争や紛争, 環境問題など, 世界各地で様々な課題が起きている理由を考え, 根拠を示しながら文にまとめている。国際連合の働きや日本の国際協力などから平和な世界の実現に向けた今後の日本の役割について多角的に考え, 発表している。	○平和な世界の実現に向けた日本の役割について, 調べたことを考え, 自分で学習問題をつくっている。地球規模で発生している様々な課題と取り組みについて, 調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2. 日本の歴史		○	○	○	○
		○	○	○	○